

学力向上に効果のある取組事例

佐伯市立佐伯小学校

⑰校内研修などによる授業改善

○教育目標を踏まえ、目的と内容を明確にした国語科の研究の継続(平成24年度～)

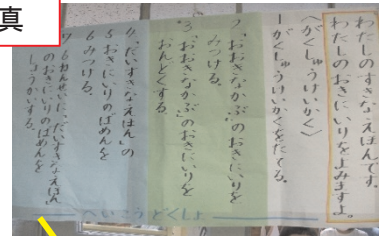
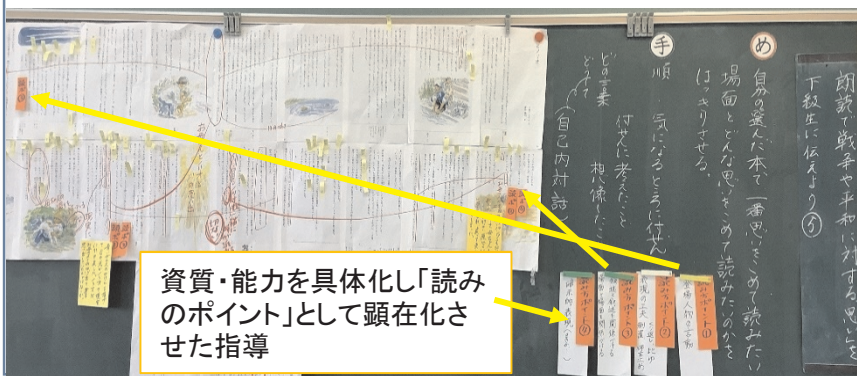
※研究が独善的にならないように、京都女子大学の水戸部修治教授(元文部科学省教科調査官)に年間を通じて指導を仰ぐとともに、毎年自主公開研を開催したり市の国語科研究指定を受けたりしている。

取組の具体①

①単元を通して、質の高い言語活動を位置づけた国語科の授業づくりに関わる研究

- ・目的や相手を意識できるような掲示や板書
- ・資質・能力を具体化したり顕在化させたりした指導

単元を通して目的や相手を意識できるような掲示や板書, 実際の活動の写真



取組の具体②

②「読むこと」の単元を中心に意図的・継続的に並行読書を位置づけた指導

- ・ブックリストの作成とマトリックス表による読んだ本の確認
- ・複数の本を読むことと単元の目的が合致するような言語活動の設定

誰がどの本を読んでいるかが分かるマトリックス表(低学年は本の表紙の写真とシール)とそれを参考に交流したり次に読む本を決めたりしている活動

必然的に複数の本を読むような言語活動を位置づけた学習(写真は「書くために読む」領域複合の指導)

